

三原市公共施設類型別実施計画
【社会教育系施設編】

1 施設配置



中分類	No.	施設名
図書館	1	中央図書館
	2	本郷図書館
	3	久井図書館
	4	大和図書館
	5	ほんごう子ども館

中分類	No.	施設名
博物館等	6	三原市歴史民俗資料館
	7	久井歴史民俗資料館（旧）
	8	宇根山天文台
	9	地域学習センター（さざなみ学校）
	10	老人大学
	11	清水南山生誕の地

※ 7久井歴史民俗資料館については、平成29年3月31日で閉館。

※ 9地域学習センター（さざなみ学校）については、市民文化系施設（集会施設）で検討する。

2 施設データ（平成26年度の実績を記載し、収入・支出は臨時的なものを含む。経過年数は平成28年時点）

(1) 図書館

施設名	地域	建築年(年)	経過年数(年)	延床面積(m ²)	運営	司書数(人)	開館日数(日)	収入(千円)	支出(千円)	収支(千円)	利用者数(人)	蔵書数(冊)	貸出冊数(冊)	m ² 当収支(円/m ²)	利用者当収支(円/人)	貸出冊当収支(円/冊)
中央図書館	三原	1978	38	1,930	直営	2	343	67	118,927	△118,860	94,903	282,170	412,373	△61,585	△1,252	△288
本郷図書館	本郷	2004	12	594	直営	2	296	4	11,961	△11,957	23,618	54,262	105,917	△20,130	△506	△113
久井図書館	久井	2004	12	304	直営	2	296	1	8,419	△8,418	8,597	32,486	43,107	△27,691	△979	△195
大和図書館	大和	1989	27	131	直営	2	296	1	8,242	△8,241	9,939	30,021	44,087	△62,908	△829	△187
ほんごう子ども館	本郷	2001	15	98	直営	0	234	0	1,116	△1,116	6,884	10,200	8,645	△11,388	△162	△129

(2) 博物館等

施設名	地域	建築年(年)	経過年数(年)	延床面積(m ²)	運営	職員数(人)	収入(千円)	支出(千円)	収支(千円)	利用者数(人)	m ² 当収支(円/m ²)	利用者当収支(円/人)
三原市歴史民俗資料館	三原	1976	40	451	直営	1	0	5,356	△5,356	12,713	△11,876	△421
久井歴史民俗資料館(旧)	久井	1977	39	360	直営	0	0	489	△489	244	△1,358	△2,004
宇根山天文台	久井	1990	26	391	直営	0	468	10,563	△10,095	2,486	△25,818	△4,061
老人大学	三原	1967	49	1,590	直営	5	0	8,186	△8,186	1,400	△5,148	△5,847
清水南山生誕の地	三原	1911	105	46	直営	0	0	51	△51	-	△1,109	-

※職員数には非常勤職員を含む

(3) 地域別図書館利用状況

地域	人口(人)	利用者数(人)	人口当利用者数(人/人)	貸出冊数(冊)	人口当貸出冊数(冊/人)	備考
三原	76,263	94,903	1.24	412,373	5.41	
本郷	11,185	30,502	2.73	114,562	10.24	本郷図書館とほんごう子ども館の合計
久井	4,672	8,597	1.84	43,107	9.23	
大和	6,170	9,939	1.61	44,087	7.15	
合計	98,290	143,941	1.46	614,129	6.25	

※ 人口/平成27年3月31日現在の住民基本台帳

3 現状・課題

(1) 図書館

市民の教育と文化の発展に寄与することを目的に設置している。

ア 中央図書館

- ・利用者は主に三原地域全域の住民で、6割以上が自家用車で来館している。利用者の滞在時間は主に30分未満で、1時間までの利用が9割以上である。
- ・レファレンスは主に郷土資料等に関する質問であるが、スペースが不足しており、専用カウンターに複写室を配置するなど、調査・研究を援助できるスペースの確保が必要である。
- ・平成18年度に「えほんのへや」部分を増築した際に、既存施設部分の耐震改修も実施しているため、耐震性の問題はない。
- ・閉架書庫に新たな資料を収蔵する余裕がなくなっている。
- ・館内の広さに関する利用者の不満が多く、スペースに余裕がないため、新たなサービス展開に制限がある。
- ・老朽化が進み、修繕やエレベーターが設置されていないことに伴うバリアフリー化への対応が必要となっている。

イ 本郷図書館

- ・利用者は主に本郷地域と三原西部地域の住民で、大人の利用及び土・日曜日の利用が多い状況となっている。
- ・市民の身近にあつて、教養や生活を豊かにするサービスの拠点としての役割を持っている。
- ・新耐震基準により整備された本郷生涯学習センター内にあり、内・外装ともに比較的きれいに保たれている。
- ・自然光を多く取り入れる構造のため、紫外線による図書の劣化と夏場の温度管理への対応が必要となっている。
- ・市内図書館で最多5席の視聴覚ブースが整備されており、土・日曜日と平日夕方の利用が多く、特に夏休みなど長期休暇中には常時満席の状況となっている。開館時から使用している視聴覚機器については更新が必要となっている。

ウ 久井図書館

- ・利用者は主に久井地域の住民であるが、大和地域や世羅町住民の利用もあり、大人及び未就学児とその保護者の利用が多い状況となっている。また、平日と土・日曜日の利用者数はほぼ同じくらいである。
- ・市民の身近にあつて、教養や生活を豊かにするサービスの拠点としての役割を持っている。
- ・新耐震基準により整備されたくい文化センター内にあり、内・外装ともに比較的きれいに保たれている。
- ・読みかたりスペースと学習スペースが近接する構造のため、音への対策が必要となっている。
- ・2席の視聴覚ブースが整備されており、午後の利用が多く、特に夏休みなど長期休暇中には常時満席の状況となっている。開館時から使用している視聴覚機器については更新が必要となっている。

エ 大和図書館

- ・利用者は主に大和地域の住民であるが、世羅町や東広島市住民の利用もあり、大人の利用と平日の利用が多い状況となっている。
- ・市民の身近にあつて、教養や生活を豊かにするサービスの拠点としての役割を持っている。
- ・新耐震基準により整備された大和文化センター内にあり、内・外装ともに比較的きれいに保たれている。
- ・スペースに余裕がないため、新たなサービス展開に制限がある。
- ・館外に設置している閉架書庫を、館内へ設置する対応が必要となっている。

オ ほんごう子ども館

- ・市内の子どもに本などを通して、教育と文化の発展に寄与することを目的として設置している。
- ・利用者は主に未就学児とその保護者となっている。
- ・施設の一部に経年による劣化が見られるが、内・外装ともに比較的きれいに保たれている。

- ・地元運営委員会での運営体制が機能している、全国でも先駆的な図書館である。市民の自由な発想を活かせる形で行われるその活動は、市民との協働を進める本市において意義が高い施設である。

(2) 博物館等

○歴史民俗資料館

市内及び周辺地域の歴史、民俗、美術、産業、自然科学等に関する資料を収集、保管及び展示し、郷土の歴史と文化に対する住民の知識と理解を深めるために設置している。

ア 三原市歴史民俗資料館

- ・文化財をはじめとした貴重な文化遺産を収蔵しており、後世に継承することも重要な業務・施設であり、周辺に代替施設もなく、今後も維持していく必要がある。
- ・利用者は主に、歴史に興味を持つ市民と社会科見学の小学生であり、市外からの利用者は少ない。
- ・収蔵物が多いため、展示スペースや企画展を行うスペースが不足している。

イ 久井歴史民俗資料館（旧）

- ・久井の牛市に関する資料や、県有形民俗文化財に指定されている久井町の節句どろ人形など貴重な資料を保存しており、移転した新しい展示室で、保存及び公開し、歴史・文化の継承を図る。
- ・市内外に PR していくとともに、来館者の増加を図る。

○その他

ア 宇根山天文台

- ・利用者は市民が約 6 割、市外住民が約 4 割となっており、子ども連れの家族や夏休み期間中の利用が多い。冬季はイベント時の利用がほとんどで平常時の利用はほとんどない。
- ・県内で公開している天文台の中で最大の反射望遠鏡（直径 60cm）を所有しており、これまで広報みはら、各種情報誌、学校への出張プラネタリウムなどで周知を行ってきたが、まだ周知が不足している。
- ・周辺の観光スポット及び宿泊施設とともに PR を強化し、利用者を増やす取組が必要である。

イ 老人大学

- ・利用者は市内全域の高齢者で、継続受講者は多いが新入生は少なく、全体的な生徒数は減少傾向にある。
- ・老人大学は専用施設であるが、講座に必要な設備や広さを有する部屋が不足しており、他施設（リージョンプラザ、福社会館、武道館）を借りて実施している講座もあるため、諸室の稼働率が低くなっていることから、他施設への移設を検討する必要がある。
- ・利用者の声として、坂道が多く通いにくいという意見が多くある。
- ・旧耐震基準により整備され、耐震診断も実施していない。また、施設の老朽化が著しく、エレベーター等の施設維持管理経費も高額となっている。

ウ 清水南山生誕の地

- ・彫金界の第一人者として、金工技術の発展、継承に尽力した清水南山の生誕の地として市史跡に指定しており、その功績を後世に継承する役割を担っている。

4 実施方針

(1) 図書館

- ・利用圏域については、知の拠点としての役割を有し、一定の利用があるため、当面、地域施設として位置づける。
- ・継続して拠点となる図書館を三原地域に1か所配置し、本郷地域・久井地域・大和地域に小規模図書館を配置し、指定管理者制度の導入を進める。
- ・拠点図書館では、全てのサービスを総括し、ネットワークの中核として市民に対するきめ細やかな図書サービスの提供や、より高度な充実したサービスの提供ができるように努めるとともに、小規模図書館との資料や情報の相互利用を促進する。小規模図書館では、読書・貸出・蔵書検索・リクエスト・返却・相談と、それぞれの地域の特性を活かした資料の収集・保存に努めることとする。
- ・小規模図書館においては、利用状況から開館時間の見直しや併設する文化施設の方向性によっては周辺公共施設への移転等を検討する。

(2) 博物館等

ア 歴史民俗資料館

- ・利用圏域については、市域施設として位置づけ、現状の2か所(三原, 久井)の配置とする。
- ・運営については、利用者の増と経費のバランスを見ながら、その方法を検討する。

イ その他

- ・それぞれの施設で提供している機能が、公共が担うべき役割かどうかで機能の方向性を判断するため、利用圏域は定めない。
- ・それぞれの施設で提供している機能と、施設自体の必要性を判断し、施設のあり方を検討する。

5 個別施設の方向性

施設	方向性		説明
	機能	建物	
中央図書館	移転	検討	スペース不足等の課題解決を図るとともに、集客力の高さを活かした官民連携による中心市街地活性化を図るため駅前東館跡地に移転し、運営については指定管理者制度の導入を進める
本郷図書館	継続	継続	機能・建物を継続し、管理運営体制については指定管理者制度の導入を進める
久井図書館	継続	継続	機能・建物を継続し、管理運営体制については指定管理者制度の導入を進める
大和図書館	継続	検討	機能を継続し、建物については、周辺公共施設の再配置を整理する中で方向性を検討する。管理運営体制については指定管理者制度の導入を進める

ほんごう子ども館	当面 継続	当面 継続	当面は機能・建物を継続し，大規模改修が必要な時期に方向性を検討する
三原市歴史民俗資料館	継続	検討	機能を継続し，利用者数の増加に取り組む。建物については，周辺公共施設の再配置を整理する中で方向性を検討する
久井歴史民俗資料館（旧）	移転	廃止	機能は旧久井小学校へ移転し久井コミュニティセンターと複合化した。建物は老朽化のため廃止する
宇根山天文台	継続	継続	機能・建物を継続し，管理運営については近隣3施設（天文台・家族旅行村・青年の家）での指定管理等の検討により運営強化をめざす
老人大学	移転	廃止	施設の老朽化のため建物を廃止し，他施設への移転を検討する
清水南山生誕の地	継続	継続	機能・建物を継続し，市史跡としての有効活用を検討する

6 年次計画

施設名	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
中央図書館	継続	機能移転後の活用検討		(機能は移転し，新たな機能により継続)				
本郷図書館	継続							
久井図書館	継続							
大和図書館	継続（周辺公共施設の再配置を整理する中で方向性を検討）							
ほんごう子ども館	当面継続（大規模改修が必要な時期に方向性を検討）							
三原市歴史民俗資料館	継続	(機能移転 検討)	方向性 決定					
久井歴史民俗資料館（旧）	廃止済（機能は移転・供用開始）							
宇根山天文台	継続		指定管理業務開始により運営強化を図る					
老人大学	(機能移転 検討)		廃止 (機能移転)					
清水南山生誕の地	継続							